●手動接続を利用して接続先を追加登録したい(Windows Vistaをお使いの場合)

⇒ 本紙の「本製品のセットアップ(Windows Vista編)」の手順９以降を参照してください。

●パソコン同士でファイルを共有する場合

⇒ 各パソコンにネットワークの設定が必要です。設定方法については、お使いの環境によって異なりますので、ネットワーク管理者にご確認ください。

●AirStation倍速設定ツールをインストールしたい

⇒ AirStation倍速設定ツールは、以下の手順でインストールしてください。

1. 付属CD-ROM「エアナビゲータCD」をパソコンにセットします。
しばらくすると、エアナビゲータが起動します。
※ Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[AirNavi.exeの実行]をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。
2. [オプション]をクリックします。
3. [上級者向けインストール]をクリックします。
4. 「AirStation倍速設定ツール」にチェックマークをつけて、[インストール開始]をクリックします。
5. 「インストールが完了しました」と表示されたら、[戻る]をクリックします。
6. 画面右上の[×]をクリックして、エアナビゲータ画面を閉じます。

以上でAirStation倍速設定ツールのインストールは完了です。

●本製品の無線モードを出荷時設定に戻したい

⇒ 無線モードを出荷時設定に戻すには、以下の手順で設定を変更してください。

1. 本紙の「倍速モード(300Mbps)で通信するには」の手順1～4を行います。
2. 「通常(20MHz)モードを使用する」を選択し、[次へ]をクリックします。
3. 設定が変更されます。
4. 「無線子機の設定は完了しました」と表示されたら、[設定を終了します]をクリックします。

以上で設定は完了です。

製品仕様

※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

項目		仕様
無線LANインターフェース	準拠規格	ARIB STD-T71(IEEE802.11a)、ARIB STD-T66(IEEE802.11b/g) 小電力データ通信システム規格
		無線LAN標準プロトコル IEEE802.11a/IEEE802.11b/IEEE802.11g/Draft2.0 IEEE802.11n
	伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調(MIMO-OFDM)方式 直交周波数分割多重変調(OFDM)方式 直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式 単信(半二重)
ホストインターフェース		ExpressCard/34、ExpressCard/54 ※接続インターフェースはPCI Expressのみ対応(USB2.0は対応しておりません) ※ExpressCardスロット増設用のボードや変換アダプターでの動作には対応しておりません。
対応パソコン(※1、2)		ExpressCard/34またはExpressCard/54スロットを搭載したパソコン
対応OS		Windows Vista(32bit)/XP
送信周波数範囲(中心周波数)		IEEE802.11n(40MHz): 2422～2462MHz(3～11チャンネル) 5190～5310MHz、5510～5670MHz(38/42/54/62/102/110/118/126/134チャンネル) IEEE802.11n(20MHz): 2412～2472MHz(1～13チャンネル) 5180～5320MHz、5500～5700MHz(36/40/44/48/52/56/60/64/100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140チャンネル) IEEE802.11a: 5180～5320MHz、5500～5700MHz(36/40/44/48/52/56/60/64/100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140チャンネル) IEEE802.11g/b: 2412～2472MHz(1～13チャンネル) ※基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオとは混信しませんが、これらの機器が2.4GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
データ転送速度		IEEE802.11n 40MHz Channel <800nsGI> 270.0/243.0/216.0/162.0/108.0/81.0/54.0/27.0Mbps(mcs8-15) 135/121.5/108.0/81.0/54.0/40.5/27.0/13.5Mbps(mcs0-7) IEEE802.11n 40MHz Channel <400nsGI> 300.0/270.0/240.0/180.0/120.0/90.0/60.0/30.0Mbps(mcs8-15) 150.0/135.0/120.0/90.0/60.0/45.0/30.0/15.0Mbps(mcs0-7) IEEE802.11n 20MHz Channel <800nsGI> 130/117/104/78/52/39/26/13Mbps(mcs8-15) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5Mbps(mcs0-7) OFDM 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps DS-SS,CCK 11/5.5/2/1Mbps
セキュリティ		WPA-EAP(TKIP/AES)※、WPA2-EAP(TKIP/AES)※、 WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(TKIP/AES)、 802.1X/EAP(WEP)※、WEP(128/64bit) ※対応するEAPは、TLSとPEAPです。 ※セキュリティーがTKIP、WEP(128/64bit)の場合、IEEE802.11nでの無線接続は対応しておりません。
消費電力 / 消費電流		最大2500mW / 最大800mA
動作環境		温度:0～55℃　湿度:20～80%(結露なきこと)
外形寸法 / 重量		34(W)×5(H)×112(D)mm　(突起部14mm) / 27g

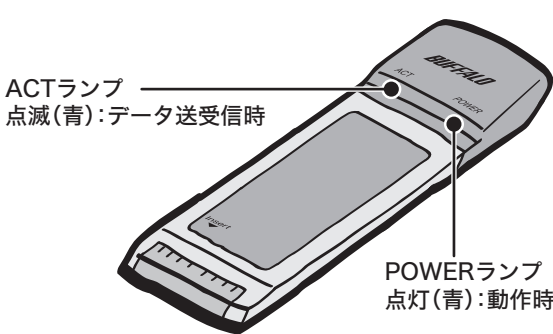
※1　デュアルプロセッサー搭載機種、およびIntel 910/915/925シリーズのチップセットを搭載したパソコンには対応しておりません。

※2　スタンバイ/休止状態には対応しておりません。

※3　TCP/IP以外のプロトコル(NetBEUIやIPX/SPXなど)には対応しておりません。

ランプ仕様

ACTランプ
点滅(青):データ送受信時

POWERランプ
点灯(青):動作時

■ 電波に関する注意

● 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

● 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
・本製品を分解／改造すること
・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

● IEEE802.11aのW52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。

● IEEE802.11b/g対応製品は、次の場所で使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く(環境により電波が届かない場合があります。)

● IEEE802.11b/g対応製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
・産業・科学・医療用機器
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
①構内無線局(免許を要する無線局)　②特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

● IEEE802.11b/g対応製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式/OFDM方式 (IEEE802.11b/g対応製品) DS-SS方式　(IEEE802.11b対応製品)
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線親機間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、通信内容を盗み見られる/不正に侵入されるなどの可能性があります。

BUFFALOの無線LANセキュリティーに対する取り組みについては、「エアステーション設定ガイド」の「無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意」をご覧ください。

■本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
■BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。AirStation™、AOSS™は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、©、® などのマークは記載していません。
■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。
■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

かんたん導入ガイド
2009年 4月22日 初版発行　発行 株式会社バッファロー

BUFFALO　35010810 ver.01 1-01　C10-013

かんたん導入ガイド

WLP-EXC-AG300 マニュアル

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

パッケージ内容

パッケージには、次のものが梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの代理店・販売店にご連絡ください。

- 無線子機(本体) 1個
- エアナビゲータCD 1枚
- かんたん導入ガイド(本紙) 1枚
- 安全にお使いいただくために必ずお守りください 1枚
- シリアル番号シール 1式
- ユーザー登録はがき/保証書 1枚

※別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。

※本製品に同梱されているユーザー登録はがきは、保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。

取り付けに関する注意事項

本製品は、ExpressCard/34およびExpressCard/54スロットに対応した無線子機です。
取り付け時は、以下の注意事項に従ってください。

・お使いのパソコンにExpressCard/34またはExpressCard/54スロットが搭載されている必要があります。
・ExpressCard/54スロットに本製品を取り付ける場合、ExpressCard/54スロットの幅が本製品の幅より広くなっています。ExpressCard/54スロットの向かって左側に本製品を挿入してください。

本製品のセットアップ(Windows XP編)

本製品をパソコン(Windows XP)に取り付けてドライバーおよびユーティリティーをインストールします。

※本製品は、画面に取り付け指示が表示されてから、取り付けてください。
先に取り付けると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。その場合は、[キャンセル]をクリックして、本製品を取り外してください。

❶ パソコンを起動します。

❷ 添付のCD-ROM(エアナビゲータCD)をパソコンにセットします。
しばらくすると、エアナビゲータが起動します。

❸
「オプション」をクリックします。

❹
「上級者向けインストール」をクリックします。

❺
「エアステーション無線子機ドライバ」および「クライアントマネージャ3」にチェックマークをつけます。

「インストール開始」をクリックします。

❻ 画面にしたがって、インストールをおこなってください。

❼ しばらくセットアップを続けると、下の画面が表示されます。
※IEEE802.1X認証を利用する場合は、画面右上の[×]をクリックして画面を閉じ、本紙裏面の「IEEE802.1X認証を利用するには」を参照してください。

「手動設定」をクリックします。
※AOSS™/WPSによる無線接続については、無線親機に付属のマニュアルを参照してください。

❽
SSID(ネットワーク名)を選択します。
※接続先のSSIDについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

[接続]をクリックします。

❾
無線の暗号化方式を選択します。
※選択する暗号化方式については、ネットワーク管理者にご確認ください。

暗号化キーを入力します。
※入力する暗号化キーについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

[接続]をクリックします。

・この接続をプロファイルに登録する場合は、「プロファイルに登録する」のチェックマークをつけて、[接続]をクリックします。
・暗号化方式が「WEP」の場合は、通常、「1」の欄に暗号化キーを入力します。

❿ [×]をクリックして画面を閉じます。

「認証完了」と表示されます。
※暗号がWEPまたは暗号化なしの場合は、「接続」と表示されます。

※無線親機との距離が近すぎるとスループットが落ちる場合があります。通信時は、無線親機と30cm以上離してお使いください。

⓫ 「インストールが完了しました」と表示されたら、「戻る」をクリックします。

⓬ 画面右上の[×]をクリックして、画面を閉じます。

右上へつづく

次ページへつづく

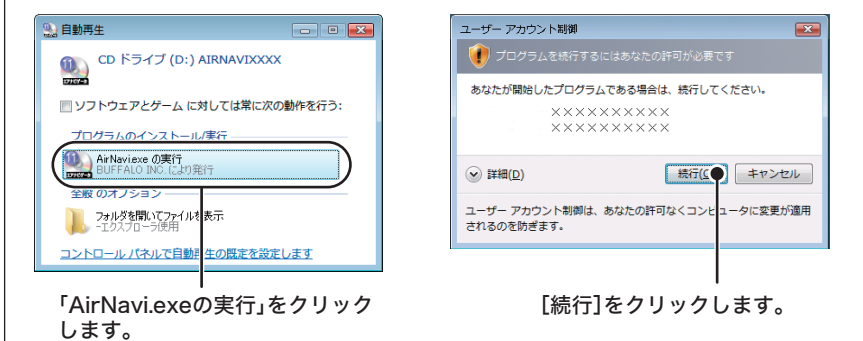
本製品のセットアップ (Windows Vista編)

本製品をパソコン(Windows Vista)に取り付けてドライバーおよびユーティリティーをインストールします。

※本製品は、画面に取り付け指示が表示されてから、取り付けてください。
　先に取り付けると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。その場合は、[キャンセル]をクリックして、本製品を取り外してください。

❶ パソコンを起動します。

❷ 添付のCD-ROM(エアナビゲータCD)をパソコンにセットします。

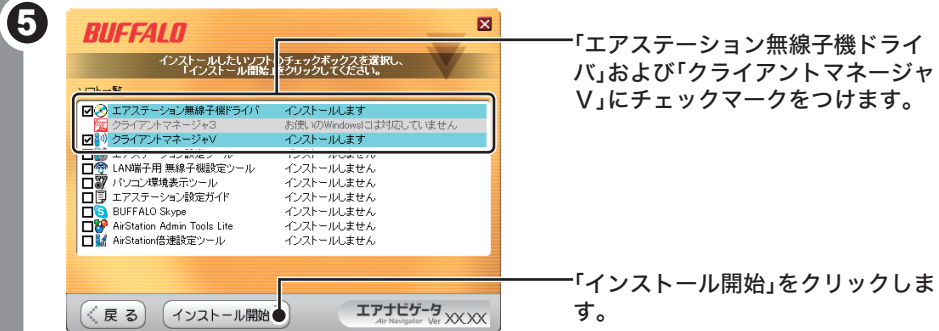
注意 以下の画面が表示されたら？

「AirNavi.exeの実行」をクリックします。

[続行]をクリックします。

❸

「オプション」をクリックします。

❹ 「上級者向けインストール」をクリックします。

❺

「エアステーション無線子機ドライバ」および「クライアントマネージャV」にチェックマークをつけます。

「インストール開始」をクリックします。

❻ 画面にしたがって、インストールをおこなってください。

❼ 「インストールが完了しました」と表示されたら、「戻る」をクリックします。

❽ 画面右上の[×]をクリックして、画面を閉じます。

※IEEE802.1X認証を利用する場合は、本紙の「IEEE802.1X認証を利用するには」を参照してください。

❾ 画面右下のタスクトレイにあるアイコンをクリックします。

クリックします。

❿

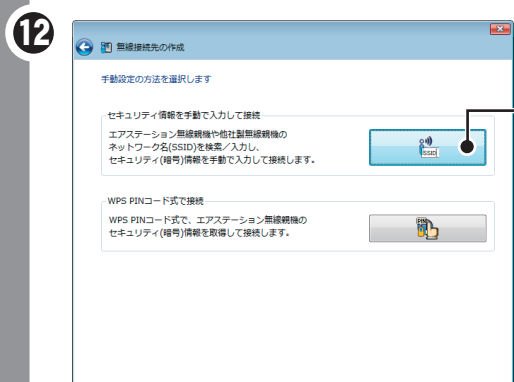
「接続先の作成」をクリックします。

右上へつづく (2)

⓫

「手動設定」をクリックします。

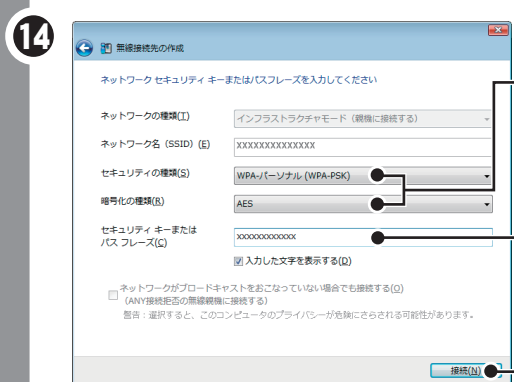
※AOSS™/WPSによる無線接続については、無線親機に付属のマニュアルを参照してください。

⓬

「セキュリティ情報を手動で入力して接続」を選択します。

⓭

SSID(ネットワーク名)を選択します。

※接続先のSSIDについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

[次へ]をクリックします。

⓮

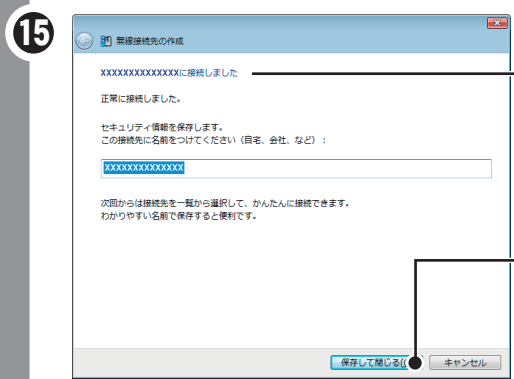
無線の暗号化方式を選択します。

※選択する暗号化方式については、ネットワーク管理者にご確認ください。

暗号化キーを入力します。

※入力する暗号化キーについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

[接続]をクリックします。

⓯

「〜に接続しました」と表示されます。

[保存して閉じる]をクリックして、画面を閉じます。

※無線親機との距離が近すぎるとスループットが落ちる場合があります。通信時は、無線親機と30cm以上離してお使いください。

※「無線接続先の作成が完了しました」という画面が表示された場合は、[閉じる]をクリックしてください。

右上へつづく

倍速モード(300Mbps)で通信するには

本製品は、出荷時設定では300Mbps(規格値)の通信を行うことはできません。300Mbpsで通信するには、下記の手順で設定を変更してください。

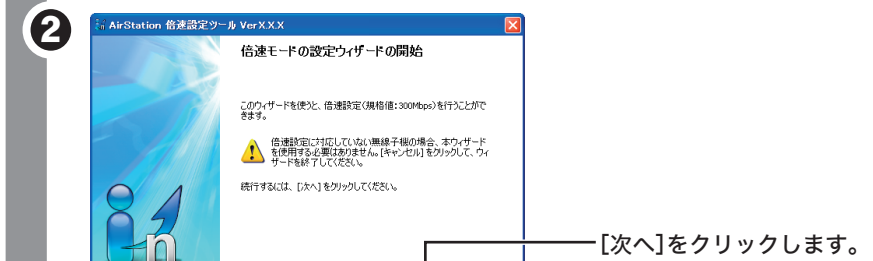
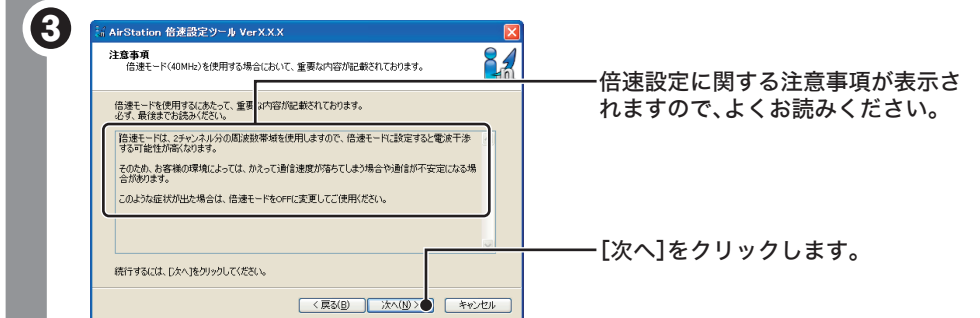
※300Mbpsで通信を行うには、無線親機がDraft IEEE802.11nの倍速モードに設定されている必要があります。無線親機の設定については、ネットワーク管理者にご確認ください。

❶ [スタート]−[(すべての)プログラム]−[BUFFALO]−[エアステーションユーティリティ]−[AirStation倍速設定ツール]を選択します。

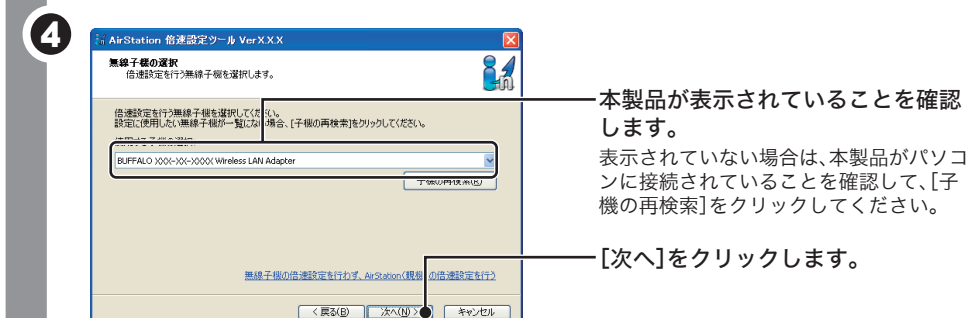
※AirStation倍速設定ツールがインストールされていない場合は、本紙「困ったときは」の「●AirStation倍速設定ツールをインストールしたい」を参照してください。

❷

[次へ]をクリックします。

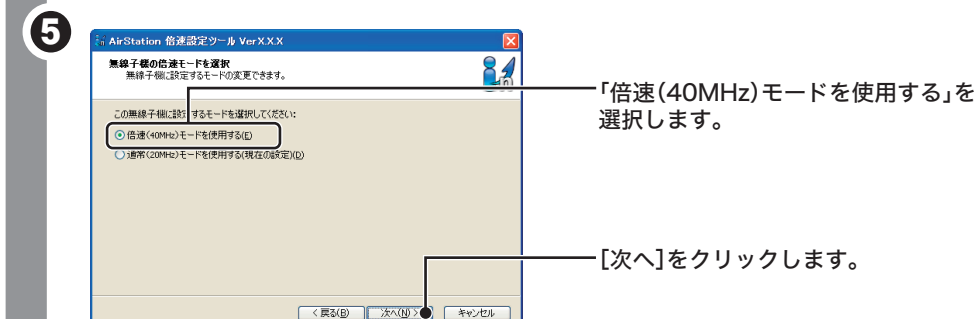
❸

倍速設定に関する注意事項が表示されますので、よくお読みください。

[次へ]をクリックします。

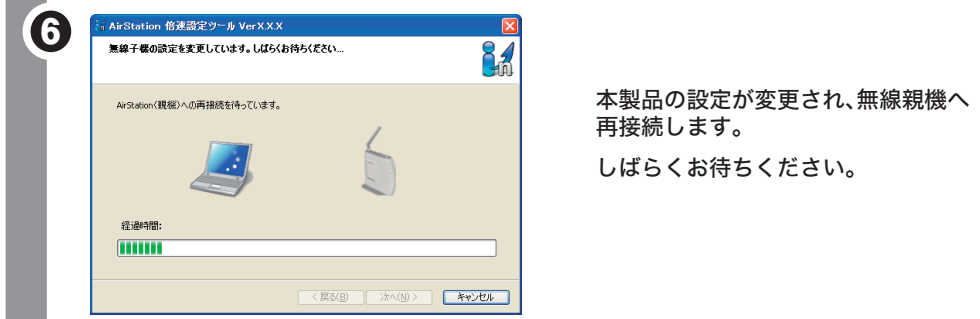
❹

本製品が表示されていることを確認します。

表示されていない場合は、本製品がパソコンに接続されていることを確認して、[子機の再検索]をクリックしてください。

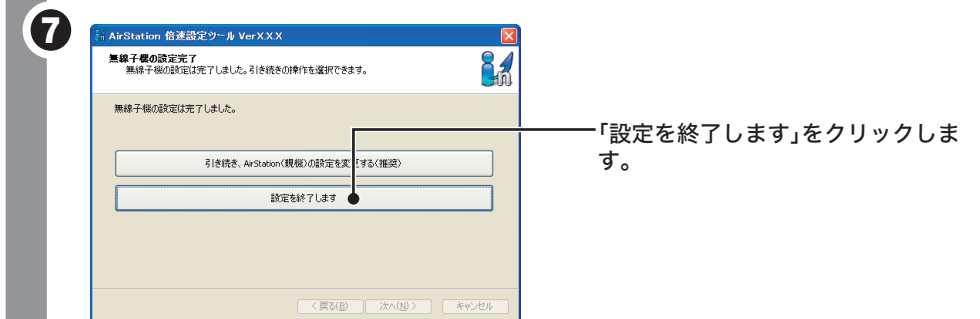
[次へ]をクリックします。

❺

「倍速(40MHz)モードを使用する」を選択します。

[次へ]をクリックします。

❻

本製品の設定が変更され、無線親機へ再接続します。

しばらくお待ちください。

❼

「設定を終了します」をクリックします。

本製品を取り外すには

Windowsの動作中に本製品を取り外すときは、以下の手順にしたがってください。

1. タスクトレイに表示されている取り外しアイコン(Vista:　XP:　)をクリックし、[BUFFALO WLP-EXC-AG300 Wireless LAN Adapterを安全に取り外します」を選択します。
2. 「安全に取り外すことができます」と表示されたら、本製品を取り外します。

右上へつづく (3)

IEEE802.1X認証を利用するには

IEEE802.1X認証の設定方法は、添付CD-ROMに収録されている「エアステーション設定ガイド」に記載されています。以下の手順で「エアステーション設定ガイド」をご参照の上、設定を行ってください。

1. 添付CD-ROM「エアナビゲータCD」をパソコンにセットします。
   ※ お使いのパソコンによっては、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。その場合、[続行]をクリックしてください。
2. [マニュアルを読む]をクリックします。
3. 「マニュアルをインストールしてから読みますか？」と表示されますので、インストールする場合は、[はい]をクリックします。
   ※ インストールしたマニュアルは、[スタート]−[(すべての)プログラム]−[BUFFALO]−[エアステーションユーティリティ]−[エアステーション設定ガイド]から、いつでも参照することができます。
4. 「エアステーション設定ガイド」が表示されたら、「マニュアルを読む」−「製品情報」−「無線子機」の順にクリックします。
5. 「WLPシリーズの802.1X認証の設定について」をクリックすると、IEEE802.1X認証の設定方法が表示されますので、手順を参照して設定を行ってください。

困ったときは

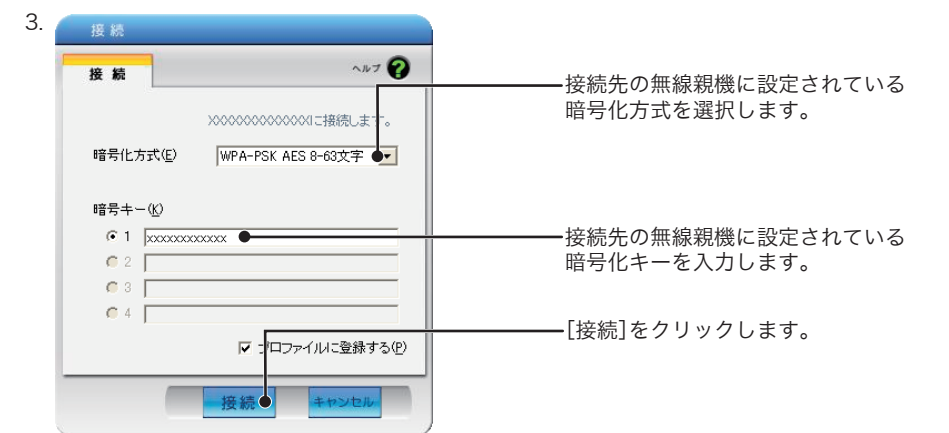
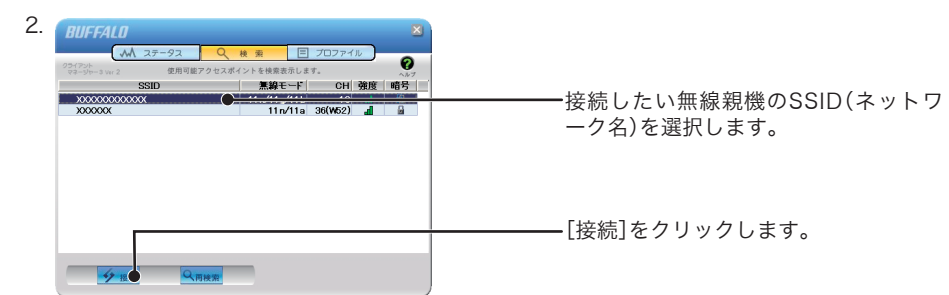
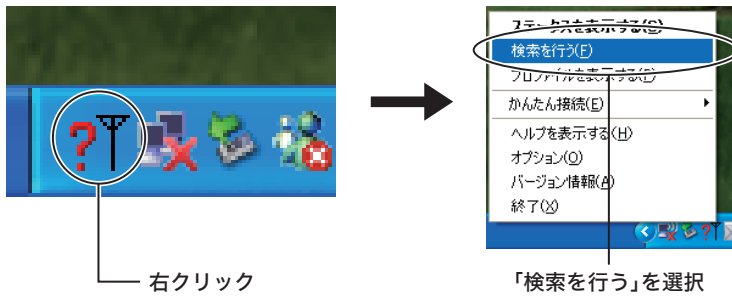
弊社ホームページのサポート情報を参照してください
http://buffalo.jp/products/catalog/network/trouble_as/airstation/

●本製品のドライバーがインストールできない場合(ランプが点灯・点滅しない)

⇒ 本製品を下記の手順で再インストールしてください。

1. 付属CD-ROM「エアナビゲータCD」から「オプション」−「ドライバの削除」を実行して本製品のドライバーを削除します。
2. 無線子機をパソコンから取り外して、パソコンを再起動します。
3. 再度、「本製品のセットアップ」を参照して、セットアップをおこないます。

●手動接続を利用して接続先を追加登録したい(Windows XPをお使いの場合)

1. 画面右下のタスクトレイにある　アイコンを右クリックして、「検索を行う」を選択します。

右クリック

「検索を行う」を選択

2.

接続したい無線親機のSSID(ネットワーク名)を選択します。

[接続]をクリックします。

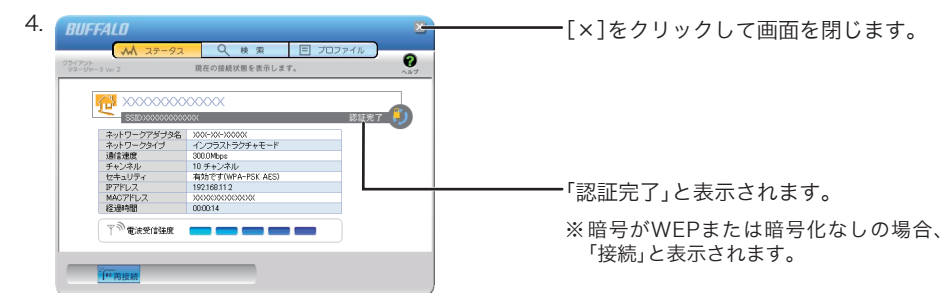
3.

接続先の無線親機に設定されている暗号化方式を選択します。

接続先の無線親機に設定されている暗号化キーを入力します。

[接続]をクリックします。

・この接続をプロファイルに登録する場合は、「プロファイルに登録する」のチェックマークをつけて、[接続]をクリックします。
・暗号化方式が「WEP」の場合は、通常、「1」の欄に暗号化キーを入力します。

4.

[×]をクリックして画面を閉じます。

「認証完了」と表示されます。

※暗号がWEPまたは暗号化なしの場合、「接続」と表示されます。

次ページへつづく